

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 5 3	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Metabolic effects of alcohol in the form of wine in persons with type 2 diabetes mellitus. 2型糖尿病患者のワインによるアルコール摂取の代謝への影響	
執筆者	
Bantle AE, Thomas W, Bantle JP.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Metabolism. 2008 Feb;57(2):241-5.	
キーワード	
2型糖尿病、ワイン、代謝	
要 旨	
<p>糖尿病でないヒトでは中程度のアルコール摂取が心疾患を減少させるが、糖尿病患者におけるアルコールの影響は明らかではない。本研究では、2型糖尿病患者において、アルコールがHDL-コレステロールを上昇させるかどうか、他に代謝への有益な影響があるかどうかを調べた。急性なアルコール摂取の血糖値とインシュリンへの影響を調べるため、被験者に2日間入院してもらい、夕食とともに240mlのワインかグレープジュースを提供した(順不同)。慢性的なアルコール摂取の絶食時の血中脂質濃度への影響を調べるため、120-240mlのワインを30日間摂取してもらい、アルコール摂取を30日間控えてもらった(順不同)。インシュリン治療を行っていない18名の2型糖尿病患者を被験者とした。この結果、24gのアルコールを含む240mlの急性なワイン摂取は血糖値やインシュリンレベルに何の影響もなかった。30日間の慢性的なワイン摂取(1日当たり平均18gのアルコール摂取)状態では絶食時の血中脂質濃度$160\pm 6\text{mg/dL}$、HDL-コレステロール$47\pm 3\text{mg/dL}$、LDL-コレステロール$82\pm 5\text{mg/dL}$、トリグリセリド$157\pm 19\text{mg/dL}$、血糖値$128\pm 6\text{mg/dL}$、インシュリン$14\pm 2\mu\text{U/mL}$であり、一方、30日間のアルコール未摂取状態では絶食時の血中脂質濃度$160\pm 8\text{mg/dL}$、HDL-コレステロール$46\pm 3\text{mg/dL}$、LDL-コレステロール$82\pm 6\text{mg/dL}$、トリグリセリド$159\pm 19\text{mg/dL}$、血糖値$128\pm 7\text{mg/dL}$、インシュリン$17\pm 3\mu\text{U/mL}$であった。このように、2型糖尿病患者において、ワインによる中程度のアルコール摂取はHDL-コレステロールを上昇させなかったが、有害な代謝への影響も見られなかった。</p>	